

# 残る石つぶ

キーンコーンカーンコーン・・・始め!! その合図とともに合格争奪戦が火蓋を切って始まった。そう、ここは、一月の受験の最前線。ついに今まで培ってきた実力を「ビックバン」のように爆発させる日が来たのであった。最初の科目は国語。1問目から難しい漢字。乱れる呼吸。震えるシャーペン。ありありと浮かぶの鈴木先生の顔。そんな不安をかき消し、視覚は問題冊子だけになった。全てが「無」の世界に入ってしまったのである。そして終わりのチャイムとともに現実に戻った。

あつという間に二月一日が来た。一月の受験を通して「本番は一度しかない」の本当の意味を知った。合格した爽快な嬉しさや練習校で落ちることの不安を知った。コロナに感染しないか不安だった。友達にも会いたかった・・・。鈴木先生の優しい激励の言葉が嬉しかった。自己に集中し試験に臨むことができた。最善を尽くした。満足な試験だった。人生で一番の激動の三日間であった。

合格発表まで10・6・8・7・9・・・合格発表の時間が近づいていくにつれ心臓が高鳴っていった。いまにも不安でおしつぶされそうだった。そんな気持ちも次の一瞬で吹き飛んだ。赤い字で画面に表示される「合格」の二文字とそれに続く受験生への温かい言葉。その瞬間、筆舌に尽くし難いほどの喜びに包まれ、努力が報われて全てが終わったと確信し、こんな高い倍率でよく頑張ったな、と自分自身を褒め称えた。鈴木先生も大したものだと言ってくれた。

数日後、受験勉強で使った教材の整理・処分をした。捨てられる教材を見て、「合格」という宝石を取り出すために「勉強」という原石を削り、合格を勝ち取った後に残った「教材」という石だと思えばびしくなった。

## 終わりに〜来年の受験生に贈る受験のテクニック〜

・トイレは早く済まし、休憩では糖分を摂取する

入試では何が起こるか想像がつきません。極度の緊張のあまりお腹や頭が痛くなり、本領を発揮できなくなるかもしれない。よって試験会場に着いたらトイレを済まし、ラムネやチョコなどでブドウ糖を摂取(消化が早いのでいち早くエネルギーを得れる)した上で、水をこまめに飲むべきである。ちなみにブドウ糖が吸収されるまでに2〜3時間かかるので試験会場に着くまでに食べることをお勧めする。